

## 本校の教育目標

○考える子ども    ○助け合う子ども    ○しょうぶな子ども    ○進んで取り組む子ども

### 児童の実態

○外国語を話せるようになりたい、使えるようになりたいという本校児童は高学年・中学年は7割、低学年は6割いる。

○高学年・中学年の外国語活動では、「ゲーム、友達や先生との会話を聞く」「外国人の先生とコミュニケーションをとることが好きだ」という児童が多い。自分の思いを英語で伝えること、普段の英語で使ったり考えたりしているという部分は意識が低いようだ。

○低学年は、ゲームや先生や友達と話をすることが好きだという児童が多い。聞くことへの苦手意識があるようだ。

### 教師の願い

○外国語の学習を楽しみ、積極的に歌やゲーム、コミュニケーションに取り組む児童を育てたい。

○教師自身が楽しみながら授業を工夫し、児童と共に活動を楽しんでいきたい。

○「もっとやってみよう」「外国語で自分の思いを伝えよう」という思いを大切に、意欲的・積極的にコミュニケーションをとる児童を育てたい。

## 研究主題

**Let's enjoy communication!**  
 ～楽しく話し、学び合う授業づくり～

## めざす児童像

### 低学年

外国語を使って楽しくコミュニケーションをとり、楽しもうとする児童

### 中学年

外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションをとる児童

### 高学年

コミュニケーション活動を通して、自分の気持ちを伝え合う児童

## 研究の仮説

コミュニケーション活動を工夫すれば、外国語に慣れ親しみ、活動の中で得た技能を使って、意欲的・積極的に取り組む児童が育つだろう。

## 研究の視点

- ①児童が英語を聞き取れるように、どのようにして聞いたり話したりする活動を取り入れるか。
- ②児童がコミュニケーション活動を楽しみ、積極的に取り組むためにどのような活動を工夫していくか。
- ③外国語や外国語活動を学習するための動機づけや意欲をどのように図っていくか。

## 具体的な手立て

### 手立て1

①デジタル機器を使い、聞く活動充実を図るために、多くの発音を聞く活動を取り入れる。

### 手立て2

②コミュニケーション活動の充実のために、児童が主体的に学ぼうとする場面や活動を工夫する。

### 手立て3

③児童の興味・関心や学習意欲を引き出すために、単元構成の導入の工夫をする。

他校との  
情報交流

英語研修

授業実践

検証授業

成果・課題・計画